

神戸遊戯誌

42

●サッカーへ2

専門学校より強い中学チーム
青木重雄

最強とうたわれた御影師範卒業生に教えられて、
後にはその強敵に成長した小・中学校選手たち



大正末年、神戸ではじめて行なわれた国際試合。相手は第一次大戦の捕虜となっていたチェコスロバキヤ軍人チーム

大正十四年の第八回全国大会に宿敵御影師範を初めて三対〇で堂々と打ち破った神戸一中のショート・パス戦法の勝利の蔭にはこんな秘話がある。十二年のことだが、早大を指導していたモン・チョーデン(現在は故人)というビルマ人が御影師範に招かれて一週間コーチに来神した。この機会をうまくとらえて、一中でも大先輩範多竜平の骨折りで御影師範には無断である日チョーデンを宝塚歌劇に誘い、実は歌劇の方はそこそこのにしてあらかじめ一中チームをユニフォーム姿で待機させていた宝塚グラウンドに案内、いろいろと教えを乞うた。今だから話せる真相談だが、この後彼から習ったサイド・キック、インステップ・キック、トライアングル・パス、スルー・パス、スライディング、タックル、ヘディングなどを活用したショート・パス戦法を一心に身につけたおかげでかんじんの御師のロング戦法を撃破できたわけだった。

鳴尾で開かれたこの試合時の両校応援団の熱狂ぶりはすさまじいかぎり、殺気をほらんだ応援団がこわくて普通の審判員ではつとまらず、同大会第一回からのベテラン審判員である上野義一氏をわざわざ京都から呼んだが、試合がすんでから帰路がこわく、審判員にもしものことがあつては大変と、同氏はじめ各審判員を駐在所の巡査が阪神電車の鳴尾駅まで護衛していったほどだった。なお、この大会になって中学の部の参加チーム(専門学校の部は早稲田高等学院、神戸高商、松山高校、関大、関学の四校で早稲田が二対一で関学を破って優勝)は初めて二十校を越えて二十一校の多数となったが、次のとおり全部近畿地方の学校で、いかに日本のサッカーがはじめ関西地区から育っていったかということが知られるわけだ。

高津中、桃山中、御影師範、京都師範神戸二中、海草中、明星商、滋賀師、天王寺師、泉尾工、池田師、岸和田中、姫路師、神戸商、市岡中、関学中、甲陽中、神戸一中、大阪工業、生野中、奈良師だったが、御師と神戸

一中については、従来から姫路、京都、池田の各師範、甲陽中などが強かった。なかでも姫路師範が抜きん出ている、兵庫県下では御師、神戸一中と三つドモエになって争ったが、寄宿舎生活の選手が多かったせいもあるが、御師と同様に師範独特のべら棒に荒っぽいサッカーで敵を悩ましたものだった。とくに姫路と御影がやる場合は共に派閥の点からも絶対に負けられぬ、という意地があったため一段と壮烈で、ケガ人が出ることもたびあった。このころは顔を蹴られても大目に見られていた（現今では人権尊重などの面からしだいにルールが変えられている）が、三人の選手がかたまつてゴール・キーパーに体当たりしてボールを蹴り込んだりして、キーパーが前歯を折ったことがしばしばあった。

一方神戸での外人チームとの国際試合のハシリは大正七、八年ごろに今の王子公園にあった関学グラウンドで行なわれたが、相手は第一次世界大戦で日本に送られてきていたチェコスロバキヤ軍の捕虜だった。当時捕虜収容所は今の県立病院のところにあったわけだが、関学のグラウンドは周がひろびろとしてとても広い感じがした。出場選手の中に小寺延明（御師、後年関学へ、現在尼崎浜幼稚園長）、青木誠（大正八年関学卒）などがいた。とにかく、県下サッカー界の前期のヒーローは御師と神戸一中で、全国大会の優勝数も第一回（大正七年）から第二十回（昭和十三年）までに御師十一回、神戸一中五回という不滅の金字塔を打ち立てている。師範と中学全体のレベルも高く、当時は専門学校よりも強かったわけで、大正時代は関学専門部などもまだ弱かった。関学が強くなってきたのは早稲田を破った昭和二年ごろからで、これ以後神戸一中などにもやっとなつてくるようになった。このように師範と中学が大正時代を通じて強かったところへ、昭和になってからKRACの刺激があったため神戸のサッカー界全体のレベルはいっそう向上して、御師と神戸一中が全国大会で交互に優勝を続けた昭和二年から十年ごろへかけては、全く全国に名だたる黄金時

代の観があった。だからこの時代の県下の各強チームには名選手がキラ星のように並んでいたわけだが、その一部を次に拾ってみると――

まず、神戸一中では初めて御師を破った時の北川貞義（のち八高）岩田貞吉（死亡）の両FB、FWの沢野定長（静岡高―京大―戦死）野口公義（三高―京大）HBの永野武（八高―京大で活躍）や、第十二回大会の兵庫予選で再び超中等級を持つ御師を破った時の吉田三郎（六高―阪大）HBの小橋信吉（神戸高商、戦死）FWの右近徳太郎（慶応、戦死）などの当時のさつそうとした若武者ぶりが忘れられない。それにしてもこれらの時代の各チームの名選手中に大戦での戦死者が多かったことはまことに痛ましいかぎりだった。御影師範では、大正十三年ごろからの庵原三郎（FW）はじめ山口定夫（同上）神代勝一（HB）、昭和二年の五味敏夫（HB）、四年ごろの山口保（旧姓琴井谷、現在洲本在FW）空野章（同上）大橋真平（同上）、昭和六年の高原信夫（FW）、戦死、兄さんは現在葺合高校々長）などが名選手としてとくに印象に残るが、山口が後年雲中小学校の教員となつてから育て上げた多くのサッカーの後輩が、後年神戸一中へたくさん入学して逆に彼の母校である御影師範の強敵となったことは皮肉なことだった。この上御影の付属小学校の優秀なサッカー選手の中にも神戸一中へ進む者がかなり出てきて御師のサッカー選手をひやひやさせたものだ。またそのころ同大会の審判員をつとめた玉井操（早大選手、現在玉井汽船社長）が昭和六、七年の二年間同校のコーチ役を果たした功績も見逃がされない。

この他昭和初期では、馬（神三中、関学、FB）酒井、松江（神二中、姫路高校米沢（神二中、FB）山上（神二中）三崎（甲陽、関学）上田、小幡（神三中）重成（雲中、三中）の面々、さらに昭和六年に全日本天皇杯を獲得した関学クラブの後藤（ゴットン）のニック・ネームで有名、主将、GK）東浦（甲陽出身）檀野（甲陽、神三中の先生となる）堺井（神二中出身）などが光っていた。

神戸うまいもん巡礼

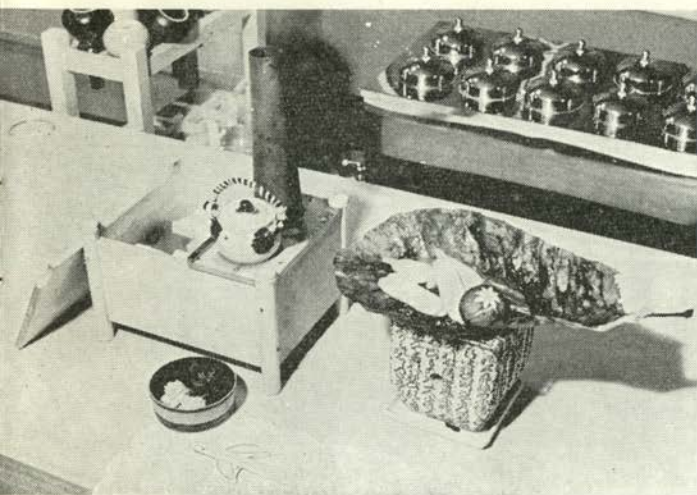
No.53

赤尾兜子

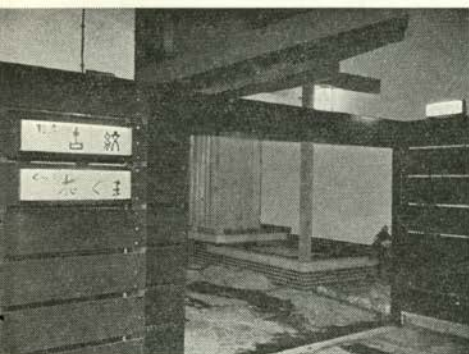
花隈の巻

花隈という名、むかし荒木村重の居城であった花熊城から出た。青年初代知事、伊藤博文の好みが花隈を、やがて東京の新橋、赤坂などとならぶあでやかな夜の街としたのだが、戦後、それも近年になるほど、この街の色あいは、衰微のきざしが濃くなってきた。特権階級地帯という印象がはびこって、足を入れる客種がひどく限定されてきたのである。

このほどできた割烹「古紋」(生田区花隈町四五)は、



民芸調ゆたかな古紋の湯豆腐(左)と朴葉焼(右)



伝統の花隈に生れたカウンター割烹の店「古紋」

この時代の流れをキャッチして、花隈の停滞を破ってみようという意図がビンとくる店といっている。花隈の料亭として五十年の歴史をもつ「松乃家」の女将としては若い鶴殿礼栄さんの経営。二、三千円あれば、食事と酒を楽しめるカウンター割烹で、会社の部、課長や青年層、アベックにも抵抗なく来てもらおうということなのである。

肌目の美しいヒノキの一枚板でゆつくりとったカウンターにすわって、バックミュージックのすべてが「小唄」「端唄」の日本調というおちついたフンイキ。

二十あまりの一品料理があるが、なかで「あげ豆腐」「朴葉焼」「湯豆腐」がいい。名だけでは、すこしも趣向がわからないのだが、それを説明すると「あげ豆腐」は絹こし豆腐の水分を除いて、新しい油で揚げ、それを酒、味淋などどとった濃い目の汁にうかせて、大根おろし、しょうがで味をしめるといふ念入りの手順(三〇〇円)。

「朴葉焼」は、東北の雪国の民家料理にヒントをえて、大きな朴の枯葉の上に、こってりした味噌をおき飛騨高山のねぎ、ピーマン、しいたけ、鶏肉、牛肉、えび、玉ねぎなどを炭火でやくという寸法（八〇〇円）それに、ここの「湯豆腐」は、エントツをつけたフロの小型模型のような器具に炭火を入れ、そのフロのなかに豆腐がいくという形（五〇〇円）……といったふうに、器の選別を加えて優雅な、あるいは風雅な味づくりにこまかい苦心がみられるのである。応待は女将の長女富子さんとキモノ姿の若い女性の三人。そのせいもあるが、明るい。午前二時までの深夜営業。

割烹「森本」（生田区花隈町三二）も、その意味で意欲的である。花隈にしては珍しい戦後派。この店では「鴨なべ」がすぐれている。何かにつけて、天然ものにことかく最近なので、河内の人工飼育の鴨を材にして、スーブを入れたなべにぎんなん、ねぎ、ゆり根、かぶら、しいたけ、白菜、春菊などを加えて煮あげ、それを卵の黄味おろしにつけて食べる。鴨肉にいくらかある臭味が殺されて、ソフトな美味が舌へくる。つきだし、季節の魚

のさしみなどつけたコースで二、〇〇〇円。冬場はふぐ、各季節には魚料理をしている。川鉄や雑穀関係会社などの客がとくに得意客らしい。二階をふくめて八座敷があり、割烹の名が示すように、料理の方にウエイトをかけている。もっとも、一見（はじめての客）の客は断っているが。

余談だが、この店の女将、森本ひさえさんは、終戦すぐには元町五丁目にあったクラブ「ロザモンド」のホステスをしていた。「ロザモンド」は瓦礫の神戸の街に、早々と生まれた唯一の神戸の名士が集まったクラブであった。その後、自前で「おでん屋」をはじめ、二十五年「森本」を開店するにいたったのだが、ともかく根っから商売がすきで、こんどはさんちかタウンにも同名のおでんと焼鳥の店を開いている。

この方は、娘と女婿がやっているが、時代を読んでゆく才覚があり、人あたりがいい。戦後の神戸味覚界に登場した女流の一人であらう。



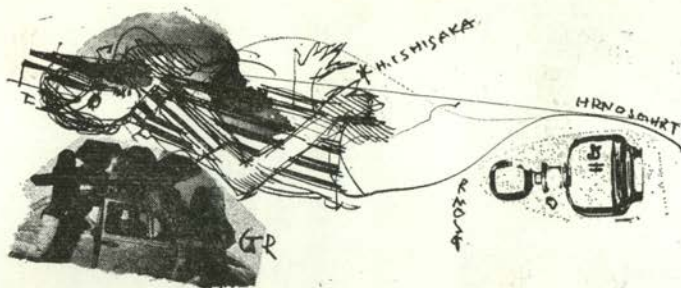
写真上は柔らかな味覚を誇る森本の鴨なべ
写真下は静かな情緒をたたえる花隈の「森本」

淑女入門 3

How to be a Lady

一点豪華淑女

文——名村喜久江
え——石阪春生



さて、ここに、百万円あるとする。これを使って、ある実験をしてみたい。五十万円ずつ山分けして、一人ずつの男女に、自由に使ってもらう実験である。

五十万円にぎった男性は、一体なにをするだろうか。セコでもいいからスポーツカーを買うかもしれない。競馬でハタ

ストールを買い与えるか、それとも全部、一晩で飲んでしまうか。

一方、五十万円にぎった女性はいそいそとデパートかスーパーへ出かけるだろう。カラーテレビが十六万円、ニセ真珠のネックレスが五千円、バルキーセーターが三千円、彼の肌着が上下で二千円、ブーツ千円、tc——「あら、百元あまっちゃったわ。では、ヤキイ

モでも——」といった多彩な買い物ぶりを展開するにちがいない。

男性は、五十万円を一つの物にドカンと爆発的に消費し、そのあと「五十万円なんて、あってもなくても、人生ちっとも変わらないや」と、苦っぱい笑いと、虚無的な満足感にひたるようだ。

しかし、女性はそのほしくない。できるだけ多くの項目に、できるだけ細かく分散して、できるだけ多面的な満足度をトータルしようとはかる。

もちろん、男性のなかにも、アイビススーツ一万五千元、パチンコ代千円、LPレコード三千円、トリスパー支払い二千円、バッテリーセンター使用料五百円——といったコマギレ投資で五十万円を有効(?)に使うW度の高いご仁もあるだろうし、逆にまた女性のなかにも「アレもコレもなんて七面倒くさい」と、ダイヤ一個にすべてを賭けるM度濃厚タイプもいることはいる。

しかし一般的にみて、男性は何か一つに集中的に燃焼しやすい、女性はだいたい、分散型の多角的欲望追求派が多いようだ。つまり男性たちは、一点豪華主義の信奉者であり、女性のほうは、多次元ケチケチ主義である。

なぜ、女性がこうなのか、天の与えた悲しきサガとしかいいようがないが、後天的な原因の一つとして考えられるのは、女性をつよく呪縛している「調和第一主義」であろう。

この洋服には、どんな帽子とクツと、バッグとがお似合いですか、この程度の普請なら、家具・調度はこのクラスがふさわしいとか、月収三万円のくせに、千五百

円ものビフテキはぜいたくよとか。均衡だの、アンサンブルだの、平均だのといった言葉を、女性たちは免罪符のようにふりかざし、それを隠れ蓑としている。というより、その呪縛や暗示から女性には逃れられないでいるのが現実である。

一点豪華主義というのは、必ずしも最上最高のいき方ではないが、世の女性たちに欠けているのは、この一点豪華主義的行動ないし、その追求ではないだろうか。なんでもかんでも調和が第一、つりあい最上——という考え方に、毒されすぎではないだろうか。

少々、変チクリンでもいい、アンバランスでもいい、ドカンと一発、悪しき調和主義、さかしらな平均主義を打破して、冒険してみようではないか。それでこそ、新しいタイプの淑女たりうるのではないだろうか。

「でも、特売品のドレスに、本ものの真珠のネックレスをしたって、だれも本ものと思ってくれないわよ」という方もあるかもしれない。それでも、いいではないか。他人に見分けがつかなくても、本ものをまとうこの豪華な満足感それが、あなたの心の姿勢を、まぎれもない淑女にしてくれるのである。

一点豪華主義は、何も身の回りの物質のみに限ったことではない。教養もしかり、趣味、嗜好においてもまたしかりである。

「A子さんて、何をきいても一応のことは答えてくれるのよ。でも、本当の悩みごととは打明ける気がしないわ」何でもかんでも、広く浅く知っている人は、便利大工みたいなもので、友人として重宝がられるはするが、真の友たりえない。

その点、Bさんはちがう。赤ん坊みたいだ。お金の



使い方はメチャクチャだし、実用的なこととはあまり得意ではない。だが、こと星に関しては、友だちのなかでピカ一の物知りである。だれもが持っていないその特技によって、友だちの中でB子さんの存在価値は光っているのである。

淑女たるもの、何か一つ、他人にない豪華な知識、趣味、特技などをもつべきである。空に輝く星のことでもいい、深海にひそむ怪奇な世界のことでもいい、タイの

目玉の構造と機能、ハチの生態でもまたけっこう。

それを知っていることによって、たったいま、十円、百円、千円ももうかるといった実利的な知識でなく、明日も来年もすぐ役立ちほしくないだろうが、人生という長いロードレースで、また人間という社会的動物のつきあいにおいて、他人より一点だけ豪華な宝石をもつことによって、あなたは、まぎれもない淑女になりうるのである。

〈次号は鴨居羊子さん〉

ポケットジャーナル



★期待される大型ホーバークラフト、神船に入荷、

今夏から九州で就航予定かねて技術提携先である英国ブリティッシュ・ホーバークラフト社に発注していた三八人乗りホーバークラフトが一月十二日、グレンシャインの貨物船デンビー造船所に到着した。このホーバークラフトは、旅客輸送を主な目的に開発した商業艇SR—N型で、全長一四・八呎、幅約七呎、全高



神戸港に浮かぶホーバークラフト

約四・二呎、スカート長さ約一・二二呎、積載量約三・九トンのものである。

神船でエンジンをはじめ諸ギ装を行ない、試運転、一般公開をして今夏九州商船(長崎市元船町)に納入する予定。その後、同艇は熊本・島原、熊本・本渡間の連絡航路につくが、商業艇としてホーバークラフトが登場するのは、これがわが国最初である。

世界ではBHC社のほかに、同社の提携社である米国のベル社とフランスは熱心で、特にフランスは独自のアイディアによる七〇人乗りの建造を開始し、将来はドーバー海峡横断用大型も計画している模様であるが、日本では、ホーバークラフトに関しては全く未開発で、神船が引渡した九州商船の成果がそのまます今後の需要につながると思ふに大きな関心を寄せている。

★「こども病院」建設計画
来年一月には着工の予定このほど兵庫県では「不幸な子供が生まれない運動」の一環として、「子供の病気を治療する計画でも病院」を建設する計画で

ある。子供の病院はこれまで、各病院の小児科だけだったため、心臓病や血液症など特殊な病気が、よほど恵まれた環境でないと治療が受けられないのが実情です。小児科だけでは、精神的にも肉体的にも発育しつつある子供の病気を適切に処置できないため、あらゆる角度から治療しようというもので、新年度予算で八百万円の調査費で場所選定、設計づくりにはいる予定。計画では、神戸市かその周辺、ベッド数三〇〇床で総工費十五億円。着工は来年の一月。

ある。

★帽子百年の変遷
神戸でシャボール展開かる明治・大正・昭和と三代にわたって流行した帽子の数を展示した「シャボール展」が一月五日から八日まで三日間、元町の「ちくさや画廊」で開かれた。帽子デザイナー若松千代子さん(神戸市宮山町一丁目六)の作品約五十点で明治鹿鳴館時代から順に当時の風俗衣裳の写真とともに

★その一
「止めたならエンジンを切ることを」
信号や、踏み切りで車を停車した時は別として、一分間以上駐車する時は、こまめにエンジンを切ることです。ビギナードライバーは、車をとめてもエンジンを切らずに「ゴトゴト」回わしつづけるようです。
空回転でもガソリン代は一分間に一元から三元ぐらいいります。一分間以上とめる時は、市外電話をかけているつもりで、必ずエンジンスイッチを切ってください。
自動車のエンジンは、加速性能をよくするため、スローの時には空気の量に対して多い目のガソリンを混合して使いますので、どうして不完全燃焼し、一酸化炭素や炭化水素をたくさん吐きだしまた大気汚染防止のために、駐車したらずくにエンジンをとめるようにしてください。

★その二

人間が万物の霊長であるのは、人間はあやまちを犯した時に「詫びる」ことができるからです。車を毎日運転していると、一年四か月に一回は、違反か、事故を起こすというデーターがあります。あきらかに自分のミスで違反をしていたり、あるいは事故をしていては、すなおに詫びることです。そうするとややこしいトラブルも短時間で解決し、相手方と友人になったりして、後の気分もさわやかです。

人間だけがもっている特権である「詫びる」ということは、一般社会生活においても活用すべきですが、ドライバーはとくに大切に利用してください。とられるべき罰金も、とられなくてカンニンしてくれることもあるのですから。

DRIVER MEMO

自動車評論家



に展示され、女性の夢を飾るのにふさわしい作品展だった。若松さんはこれまで四、五回作品展を開き、同画廊では昨年に続いて二回目、特に今年は神戸開港百年記念にと鹿鳴館に残っている原型をもとに資料を集めてみたと話していた。



ちぐさや画廊にて 若松千代子さん

帽子の流行は年々若向きに変わってきて、最近では宇宙服に似合うようなスポーティなものとか車にふさわしいデザインへと変わってきているが、クラシックなデザインもすてがたいのか女性の注目を集めている。★女性レジャー日本ではじめて三キロレースに挑戦する一月二十九日、鈴鹿サーキットでおこなわれたスポーツカー三キロレースに日本でははじめての女性レジャーが紅一点で出場見事完走してクラス別で六位に入賞した。その人は西宮市神垣町に住む主婦星住輝子さんで走行時間約二時間半という長丁場だけに注目された。この日出場台数は49台、雨あがりのためコ

ースも濡れてコンディションは不良。レース開始直後からトラブルが続出、リタイアが相次ぐなかを星住さんは終始マイペースで完走した。完走したのは約半数の24台という結果であった。



レース前の星住輝子さん

★「良識の新聞を」と

「東京オブザバー」発刊四月初旬から、週刊新聞「東京オブザバー」が発行される。発刊の目的は、一、真実の追求、二、国際的ビジョンの確立、三、正義と平和の維持、の三つの編集方針に集約される。日夜激しく揺れ動く世界情勢の中で、何ものにも屈せず、何ごとにも偏せず、真実の追求というジャーナリスト本来の使命と責任を果したい、またこれらの使命を果たし、「良識の新聞」として育てたいと、東京オブザバー社長、大森実氏（神戸出身）は語っていた。昨年一月、毎日新聞社を退社して以来、ひそかに日本でも真に国際的水準を抜くサンデー・ペーパーを創刊したいと構想を練り、ようやく、その理想と願いを実現する「東京オブザバー」が陽の目を見ることになったもの。

「東京オブザバー」は二〇ページで定価は一部三〇円。四月二日より全国紙として毎週日曜日に発行される。申込みは、東京都渋谷区松濤二の二の二

★タバコはやめられる?

新聞などに最近特に話題にのぼるタバコの害について、タバコの害を恐れて切実にタバコをやめたいと念願している人、ヘビースモーカーの人のためにと海文堂から中田光雄著「私立神港高校教諭で発行された。著者は教諭にあつて三十二年間ヘビースモーカーであったがこの本に書かれた自らの方法で断煙に成功、方法のひとつに「一時にやめようと思うな」「常にタバ



コをそばに置く」などやさしく解説されており、断煙ができなくて悩む諸氏には一読の要があるとみながいかが?（全国の書店で発売中、¥二〇〇円）

★神戸開港百年祭に

全国初の神戸カーニバル 全国一〇〇年祭協会は、神戸一〇〇年の総会で、五月十五、十六日の一〇〇年祭事業計画をきめ、先に発表された市民一〇〇年祭事務局案に新しく「神戸カーニバル」を追加するよう、ま

誕生日
ありがとう

運動



精神薄弱児（ちえおくれの子たち）は百名中三、四名は必ず出現している。その原因をくわしく調べてみますと遺伝によると思われるのは、ごくわずかで、大部分は外因性のもので、精神問題とは、わたくしたちの誰に問題です。

いいえ、精進者やそのご家族は健康な人たちの身代りとなつてその重荷に堪えてくたさうといふこともいえます。現在、経済的に、精神的に、社会的に、さまざまな重圧の下で、いい知れぬ苦痛を味わつておられるこの方々に心身ともに健康に恵まれたわたくしたちが、何らかの形で感謝と励みの意をあらわしたい。このようないふれあひの運動が、この運動です。わたくしたちの誕生日のお祝いの中から、意図的に一〇〇円を節約し、献金する。各家庭でこの問題について話し合う機会をうける。このことを手がかりとして、わたくしたちすべてが精神問題を正しく理解し、精神問題をあたたかかつつむぎ解き、救済をうけると同時に、わたくし一人一人のかけがえのない生命についても思いめぐらせ、誕生日に有意義にする。これが「誕生日ありがとう運動」です。

高校、大学生、BG、サラリーマン、主婦等のボランティア活動によって推進され、今年五月八日には発足三ヶ月目を迎えます。献金件数は一月下旬に一万件を突破しました。寄せられた献金は、銀行に預金され、その使途は、みなさんか寄せられたアイデアを参考に運営委員会が協議検討して精進問題に関心のある方、協力していただける方は左記へご連絡下さい。資料をお送りします。

★本部：神戸市長田区前原町市立室内小学校内

TEL 0917・0918

★大阪事務局：大阪市城東区古市南通

TEL 06・3872

た神戸港や、史編など後世に残る事業に力を入れるように市に要望した。

「神戸カーニバル」は各地区商店街などを中心に仮装行列を繰り出し、爆竹も鳴らして、祝典気分を盛り上げる。現在、本場リオのカーニバルを参考に、ユニークなものにしようとブラジル領事館にも働きかけ、目下研究調査中とか。初めて市民が参加できる神戸らしい愉快な企画ができたのだから、神戸っ子は大いに協力して、日本中の人が世界の人が参加できるような名物にしたいもの。

近江学園バス見学会に

精薄問題の研究及び啓蒙を目的とした「バス見学会」を三月十九日に催すことが

計画され、現在、参加者を募集している。近江学園、一麦寮、落穂寮、第一びわこ学園、あさみ寮などの精薄児施設の見学を中心とした



神戸学園での「一日保育さん」

スケジュールで、その他に糸賀園長を囲んでの話し合いや、往復のバスの中で、講師をまじえて、精薄問題一般と見学施設について、あるいは見学後の感想など

を熱心に話し合い、有意義な一日を過ごそうというものの。主催は、「誕生日ありがとう運動」本部と神戸市教育委員会、神戸新聞事業団が後援している。

また、さる二月二日には「誕生日ありがとう運動」は、献金協力者一万人突破記念に、五人の婦人の同運動協力者が、精薄児施設、神戸学園（生田区神戸地方口一里山）の四十人の子供たちのもとへ訪れ、「一日保育さん」として奉仕した。このような施設慰問や見学会は、今後も続けてやる予定。

今回の「バス見学会」の定員は七十名、費用は八百円。申込先は神戸新聞社厚生事業団、または誕生日ありがとう運動事務局。

計時花



市民の開港一〇〇年祭を

今年の「みなと祭り」は神戸開港一〇〇年祭と、同時に開催することになっている。神戸市は、この神戸開港一〇〇年のフエアに積極的な動きを見せている。神戸市民は、いつも「港のまつり」が

盛り上がりを見せないままに済んでしまうのを残念に思っているのだ。

ところが、市当局がハッスルしようというのだから、この際、市民も市当局以上に大ハッスルしようというのが今月の提言だ。神戸市は開港都市だから、由緒ある祭りを

全くとっていいない。口惜しいけれど、神戸にはいいお祭りが無い。「神戸らしいいいお祭りが欲しい」「これは神戸っ子の偽らない気持である。お祭りの効用について理屈をいって見ても始ま

らないが、祭りほど人の心を浮き立たせ、和やかにするものはないのだ。日本の祭りには、みんな神仏がついてまわる例が多いし、こんな祭りは盛んになる。それはプロデューサーがはつきりしていて、柁がしつかりして

いる。「港まつり」を成功させるには、やはり柁をしつかりとたてることだ。市民不在の神戸開港一〇〇年祭なんて意味がない。神戸っ子もこの際、頑張る。神戸市の祭りにして戻そう。

(Y)

■百店会たより■

★東京・白木屋に三月十日東京店オープンを控えた神戸シャツ（大丸前）と元町バザー（元町一）では二月十三・十四日の両日、東京・ヒルトンホテルで白木屋主催の展示披露会を開催しました。会場には関係者の政財界など知名人多数が招待されて盛大におこなわれました。

三月一日にオープンする予定でしたが、準備の都合上、より一層豪華なものにするために、三月十日に開店を変更いたしましたことをお詫び致します。施工設計は永田良介商店によるもので、デザインに頼った、すばらしいお店ですので、東京店も同様によろしく。

★呉服のちんがら屋では、東京・銀座北店、南店の両店が主催で、二月二十一・二十二日に神戸オルエンタルホテルで催されたものとはほぼ同じ内容のもので、趣向をこらした和服の展示会で、新作もたくさん発表されます。

★コウベ・スターレーンでは、二月二十・二十一日の三日間、「ランチタイム・ボウリング試合」を多数参加の下に、楽しく行ないました。日頃、仕事に忙しいBGやサラマーンの人たちに、お昼休みを、軽いスポーツで頭の切替えをして、こよなく楽しく過ごしていたかどうかという主旨のもの。料金も三日間五〇〇円と手頃で、三日間の集計により、三位まで賞が与えられました。

★港のみえるレストランで親しまれている「ロストキッチン」では、四月十八日姉妹店の「ブランドウラン」が生田区京町筋神栄ビル七階に開店いたします。浅木トミコ社長の子息浅木幸雄氏が、フランスリヨン大学に留学中、料理研究に力を入れ、この度、新開店のメニューにはフランス料理の粋とまた新たなヴァリエティあるメニューを披露されます。ご期待下さい。

伸びゆく 菊水總本店
瓦せんべい

創業明治元年



株式会社

菊水總本店

TEL (35) 1801 (代)

ステレオデッキの本格派

ステレオテープデッキ RS-766u

- * 録音・更生用プリアンプ内蔵
- * 酷使にも立派にたえる永久機構
- * 周波数特性は抜群
- * テープ自動停止装置
- * 4 ポールモーター



ナショナルテープレコーダ

ゴールドメカ・デッキ

現金正価 ¥38,000・月賦正価 ¥41,100

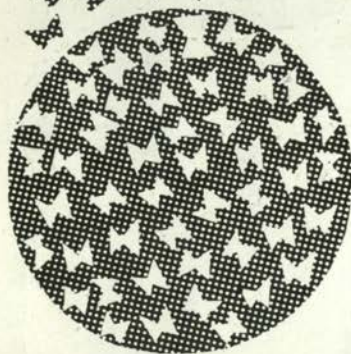
あらゆる電化製品の店

元町電機

元町6丁目 TEL (35) 0081 (代表)・4



港の見える
レストラン



コラル
キタノ

Tel: 23-2251

神戸っ子に贈る
最高を誇るレストラン
ブランドゥブラン

4月18日誕生
北野クラブの姉妹店
生田区京町神栄ビル7階
TEL 32-1455-6



楽しく ながやかな
KOBЕの憩いの場で
4エリオー!



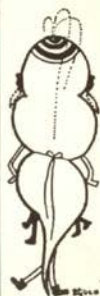
club Midori

年中無休・大阪クレジットビュロー取扱い店舗

神戸市生田区中山手通1丁目110
PHONE <33> 5543・7831

飯上 太佳子

☆神戸の集いから



★「上田富文作品集」出版記念会開く

三十数年間、毎日の仕事のかたわら俳句をこよなく愛し、読みつづけてきた上田富文さん（俳人雑誌「ギンガ」主宰、「あまのがわ」同人、生田区栄町3丁目、上田印章堂経営）がこのほど、俳句と版画を組み合わせた「上田富文作品集」（色刷り、百五十頁）を出版、その記念会が、さる2月5日、阪急三宮山側の香蘭亭で関係者約60名が出席しておこなわれた。お祝のスピーチも「上田さん



は神戸の俳句界において、現代語俳句を好み、推進し貢献してこられたが、今後も元気に活躍してほしい」と同氏の温和な人柄をあらわすように終始なごやかだった。

なお、この日の主な出席者は、赤尾兜子、荒尾親成、伊丹三樹彦、及川英雄、加藤拝星子、小林武雄、篠原正也、永田耕衣、橋間石、別車博資各氏など顔ぶれも俳人、画人と上田氏の人柄にふさわしいなごやかな良い会だった。

★竹谷千春氏主宰の「元町ダンス教室」オープンングパーティー盛大に開かれる

兵庫県舞踏教師協会理事の竹谷千春氏（神戸市灘区本山町、印刷業）の主宰する「元町ダンス教室」がこのほど国鉄元町駅の山側にオープン、さる一月八日盛大にオープンングパーティーが開かれた。

同氏は社交ダンスキャリア二十年で、現在も印刷業のかたわら、兵庫県の社交ダンス界に貢献しているがホールでないレッスン場をという以前からの念願がかなったもの。

この日東京、名古屋など全国各地から関係者約五十名がかけつけて、神戸の本格的な社交ダンス教室の誕

生を祝った。

主な出席者は助川五郎（日本舞踏競技連盟東部総局長）青柳武男（愛知県舞踏教師協会会長）妹尾太郎（KCC事務局長）石崎晴康（甲南ライオンズクラブ会長）潮田義美（前小学校長）山本恒（大阪出版社）小山賢之助（兵庫県舞踏教師協会会長）長沼隆（兵庫県舞踏教師協会理事長）小島鉄治氏ほか兵庫県舞踏教師協会全員が顔をそろえて、竹谷氏の幅広い経歴、交友から多彩な顔ぶれだった。



★第五回神戸っ子の会例会

「映画と講演の夕べ」盛会に！

今年は神戸港開港百年をむかえます。神戸港の輝やかしい歴史を祝って、市当局をはじめとして各所で多彩な記念行事が予定されています。神戸っ子はこれを機会に神戸の歴史を振り返り、未来を夢みて大きく羽ばたいてゆかなければなりません。

この趣旨にもとづいて神戸っ子の会第五回例会は二月二十一日午後五時半からナショナル電化センター二階ホールで開かれました。参加者は会員、百店会関係者など約50名。

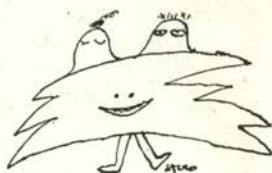
講師にむかえた諸岡博熊氏（神戸市役所調査室）が、一時間におたって「神戸の未来について」と題して、ユーモアをまじえて分りやすく話され、熱心な若い聞きてを前に熱の入った講演振り。

ひき続き神戸大学学生の創作したドキュメンタリー映画「六甲」を上映。

講演と映画が終わったあと行なわれたミーティングでは、神戸っ子はこぞって記念行事に積極的に参加して神戸の繁栄を考えたい、また「六甲」の製作態度、カメラ・アングルなどに若い世代の観察力があつまり、にぎやかな話題を提案。有意義な例会となりました。

『神戸っ子の会』

会員募集



★「神戸っ子の会」(K・F・S)とは、こんなグループです。

①「神戸っ子」の読者の集いです。読者の方々の親睦を深める集いです。

②神戸の文化は「神戸っ子」から生まれます「神戸っ子の会」は神戸の文化をつくりだす有力な母体です。

③郷土の歴史とよい伝統を受け継ぎ、さらに高く発展させてゆく会です。

④政治・経済・文化という3本の柱をひとつに結ぶ会です。

⑤現代っ子のセンスと教養を高める会です。

⑥絵画・音楽・文学等のすべての文化領域において、新しい才能を発揮する広場です。

★「神戸っ子の会」会員には次のような特典があります。

①毎月「神戸っ子」をお届けいたします。

②「神戸っ子」編集部で主催するさまざまな催しに、自由に参加することができます。

たとえば次のような催しです。

イ、一流作家、学者、芸能人を講師に迎え講演会。

ロ、「神戸っ子」特選名画鑑賞会、美術展覧会見学、古寺巡りなどを目的とするバス旅行。

ニ、神戸のうまいもんを食べる会。

③神戸百店会でお買い物をする方にいろいろ便宜を図ります。

無料ご招待の催しもありますが、催し物によってはその都度実費をいただく場合もございます。

★「神戸っ子の会」に入会するにはどうすればいいのでしょうか。

申込用紙(神戸っ子編集室へお申込みください)に所定の事項を記入のうえ、入会金二百円と会費三百円を、神戸っ子編集室へ納めていただきます。その翌月からは毎月三百円を納めていただきます。

オール関西 3月号

■表紙 小磯良平

特集 ★大阪のビジョン

座談会＝続新大阪論

大阪の可能性を探る！

小松左京・水谷頤介・能村竜太郎

河村重俊・岩下大輔

近畿圏の緑地計画／杉本正美・安部大就

■ざんぐ・ぼえっと／南地・法善寺裏＝石浜恒夫

■関西女人伝＝村山リウ＝足立巻一

■鴨居羊子恋愛論／イレブンドクターの恋愛診断＝木崎国嘉

■女流レーサー日本初の300キロレース挑戦

グラビヤ・ルポ 星住輝子

■巷談／春色浪華鼓・三条家隆

■関市長の回想／上井榊

書店にて発売＜¥ 190＞

料亭

赤坂

寒い冬には温かい鍋ものが一番です。

当赤坂名物△吉野鍋(若どりの変り鍋)

△清盛焼(神戸肉バター焼)

△蔵王鍋(山海の珍味鍋)

△とび出す魚の魚ちり……………
△あつさりと牛肉のしゃぶしゃぶ

明るい

暖かい

お座敷で

ゆったりと

御利用下さい。



神戸中山手四

TEL ②② 7836・7846

鮓	味	り	蜂
の	が	ん	蜜
又	い	ご	と
平	っ	酢	
	ぱ	の	
	い		

神戸三宮生田ノ社ノ西

鮓の又半

電話・三の宮 ③③ 0935



異人館物語



連載第五話

2

耽溺の詩人 モラエス

小山牧子 え・石阪春生



モラエスが日本移住を決意して神戸にやってきたのは明治三十一年十一月のことであった。

その以前にも、彼はポルトガル政府の命を受け、日本から大砲や軍艦を買い入れるためしばしば来日し、神戸を訪れていた。そして、美しい日本の風物と人情、特に日本娘のやさしさ、しとやかさに深く心をひかれていたのであった。

しかし、マカオ港務副司令というポルトガル政府の要職にあったモラエスが、役職を投げだして日本移住を決意するためには、それなりにのびきならぬ理由があった。

明治三十一年六月八日、公務出張で日本に滞在していたモラエスは、マカオ政庁から駐日ポルトガル公使館を

通じて、一通の電報を受取った。

港務副司令を免じ、本国帰還を命ず、という電文であった。

あきらかに左遷を意味する電文を前に、モラエスはここ数カ月、彼の周囲で内密に企てられていた策謀がついに功を奏したことを知った。

マカオに住むポルトガルの二世が、港務副司令の地位をねらい、相対なわいろを本国政府の要人に贈り、モラエスを追放してそのあとがまに坐る運動を続けていたことを、モラエスは知っていたのだ。

モラエスは、自分が左遷されたことよりも、金の力で人事問題までも左右させる本国政府の腐敗ぶりを悲しんだ。

そして次の一瞬、海軍士官としてポルトガルに忠誠をつくした過ぎた日々について思いをめぐらせた。その思い出は、どれもあまり楽しいものではない。

砲艦ドロウ号の砲術長として、モザンビークの黒人鎮圧戦争にてがらをたてたのは、モラエスが三十才を少し過ぎた頃であった。

モラエスの命令で一斉に撃ちだされる砲弾。張りめぐらされた砲煙の中で苦悶の表情もあらわに腕をよじり倒れてゆく黒人たちの姿をまのあたりにして、モラエスは一瞬、祈りに似た気持を抱いて目を閉じたものであった。幼い頃から感受性が強く、木が伐り倒されるのを見て

「モイ・タード（可哀そうに）……」とつぶやかずにいられたかったモラエスには、祖国のためとはいえ、植民地の叛乱鎮圧の戦列に加わることは、この上なく苦しい仕事であった。

それに加えてアフリカの亜熱帯の風土は、彼の健康によくなかったであろう。アフリカ近海に勤務している間、モラエスは、はげしい頭痛をとまぬ神経衰弱をわずらい、苦しみ続けた。

その病苦から逃れるために転勤を希望し、アジアにあるポルトガル植民地マカオにやってきたモラエスに与えられた仕事もまた、苛酷なものであった。港務副司令の職務のかたわらマカオ港阿片輸入監督官の仕事が課せられたのである。

当時マカオは、昔の繁栄の面影はあとかたもなく、商品の輸出入はすべてイギリスの植民地である香港に持っていかれていた。マカオであつかう品物は阿片がおもであるといった状態であつた。

そして、モラエスはやはり自分が監督して輸入した阿片が、現住民の肉体を日ましに蝕んでゆくことにたえがたい苦しみを感じた。

悲惨な現住民の姿を目のあたりにして、モラエスは搾りとりばかりで、一とかけらの文明も与えようとならない祖国ポルトガルの植民地政策を憎みはじめた。しかし、その政策にどのように批判的であろうとも、ポルトガルの軍人であるモラエスには、どうすることもできなかった。ただ一つモラエスにできたことは、一年ほどでマカオ港阿片輸入監督官の兼務を辞し、公務副司令の仕事に専念することだけであつた。

日本に来て公務副司令の職を免じるといふ電報を受取つたモラエスは、暗い絶望の思いに沈んだ。

本国に帰還し、ふたたび意に染まないうままアフリカの植民地に黒人狩に出掛けてゆく自分の姿を想像したのである。

モラエスは、今年四十四才になった自分の半生を思つ

た。楽しいことなど一つもなかった半生。

「もうたくさんだ……」

モラエスは一人つぶやいた。

残りの人生だけは、自分の思い通りに、好きな場所で好きな仕事をして生きてゆきたい。

モラエスの胸にやきついた日本の風物の美しさが急に輝きを増し、彼をしつかりと捉えた。

ことさらに澄みきつた陽光の中でやわらかい葉裏を見せて立並ぶ樹木。轟音をあげて鳴るめずらしい滝。囁く小川。美しい田畑で飾りたてたふんだんに緑また緑の風景。花、虫、ありとしあるもの。丁重な男と優美な女とからなるこの国の活気にあふれた生活ぶり。そして日本の都市の片隅にひっそりと在りつづける花街で知り合った女たちのなやかな姿態。

そうだ。残された人生を、この国の人々と共に暮らそう。モラエスの心はきまつた。

——帰国の意志まつたくなし。軍と官とを辞し、日本へ移住する——

本国への返電を依頼したモラエスに、駐日公使館員は心配気な目をむけていった。

「よくお考えになつては……?」

「いいとも。日本はいいところだ」

モラエスは笑いながら答え、そのまま彼らの前から姿を消した。

職もなく家族もなく、飄然と神戸にやってきて旅館ぐらしをはじめたモラエスを見て、神戸在留のポルトガル人は仰天してしまった。調べてみるとポルトガルでは由緒ある旧家の出身で、海軍中佐の肩書きを持つ有能な男であるらしい。

なんとかこの日本で生活のたつてゆくように面倒を見てやらねばなるまい。彼らはやっかいな同胞モラエスのために奔走した。

その結果、神戸にポルトガル副領事館をつくり、モラ

エスにその仕事をまかせることになった。

「ありがとう。日本で暮らせて、おまけに月給がもらえるなんて、夢のようさ……」

モラエスは親切な同胞に感謝し、与えられた仕事にはげんだ。

最初の職名は、神戸・ポルトガル副領事臨時事務取扱いであった。しかし、前にも書いたように、モラエスは有能な男であった。

十年余りの年月が流れる間に、彼は神戸の初代総領事という要職を勤めるようになった。そして、住居も海岸通りのコロニアル・スタイルの建築様式をもつ総領事私邸から、加納町にある純日本式のこじんまりとした家に移り住んだ。

やがて愁いをふくんだ面ざしの美しい日本の女性が、影のようにモラエスによりそって生きはじめた。福本ヨネである。

ヨネは最初、福原に籍をおき、のち大阪の松島に移った徳島生まれのくるわ芸者で、モラエスはそれまでも来日のたびごとにヨネとなじみをかさねていたのであった。

明治三十三年、神戸に住みはじめて二年目のモラエス

は、ヨネを落籍して海岸通りの家で同棲をはじめたのである。

長い間、憧憬をもって思い描いていた日本で、美しくしとやかな愛妾ヨネを得て、モラエスは、はじめて人生のよろこびを知ったと思った。

ヨネは生まれつき心が悪く、病床に伏せりがちであったが、モラエスの幸福感に、少しもそくなわれなかった。

「すみません。ほんまに……」

どれほど気分が悪くてもきちんとした身だしなみで病臥し、モラエスに切なげなまなざしを送り、時には長いまつげを涙で濡らしながら詫びるヨネ。モラエスには、そのようなヨネの手を握ったり、やさしい言葉と共に背中をさすってやるのも楽しみの一つになっていた。

モラエスとヨネの間は、最初から異国人と洋妾といった低俗な関係ではなく、モラエスはヨネに久遠の女性としての尊敬と愛をささげ、彼はヨネにまごころを求めて止まなかった。

「何を考えとるん？ モラエスさん……」

寝床の上に横になったまま、ヨネは気弱に見おろしているモラエスに問いかけたものだ。



モラエスは、長い年月ひとつのことが心にかかっていた。

しかし、それを問うことが恐ろしかった。

「オヨネちゃん。スコシハワタシヲアイシテル？」と。

言葉になろうとする問いをのみこみ、モラエスは強く頭をふった。そんなはずがない。自分のような初老に近い異国人をこの美しいヨネが愛してくれるはずがない。しかし——とモラエスはふたたび思う。このやさしい仕草。淋し気ではあるがいつも浮かべている微笑。そしていつもモラエスの心の動きをうかがっている茶色の目。人は、金だけでこのような献身を他人に与えることができるだろうか。

モラエスは、ヨネの目に視線をあわせ、気弱な笑顔をつくるのだった。

そんな時、モラエスの脳裏を、きまって三人の女性の顔がよぎるのである。

マリーア・イザベル、アルシー、亜珍——。その内の二人、マリーアと亜珍は、モラエスを裏切つて去った。

マリーアは、ポルトガルの本国でモラエスが愛し抜いた人妻で、モラエスより十才年上の彼女は、長い年月狂人の夫を看病するだけで過ごしていた。マリーアの孤独と、モラエスの燃えている若い心は、いつか傾き合い、離れがたいものになった。

不吉な怪鳥や獣のむくろを連想させる奇岩を、白く渦巻く怒濤が囁んでいるカスカイスの岩陰で、二人ははげしい抱擁をかさねた。しかし、はげしく愛し合ったあとマリーアはきまって青ざめおびえたものであった。罪を負うもののみが知る底知れぬ恐怖にマリーアはおびえているようであった。

というのは、ポルトガルの国教はカトリックで掟がきびしく、一とたび結婚した以上、相手がどのような人になろうとも、生涯そいとげなければならぬ裏切ることまでもまた罪悪とされていた。

死をもつてあがなっても決して許されることがない罪の意識にたえかね、マリーアはモラエスの手に鈍く光る銀の十字架を残して彼のもとから去った。

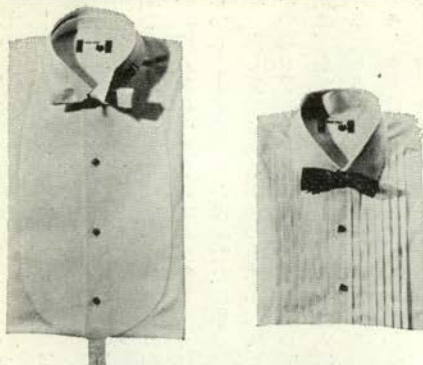
若いモラエスは、マリーアとの恋に破れ、生涯いやされることのない傷を負った。楽しいものであるはずの青春の日々は、暗い灰色に塗りつぶされているようであった。マリーアへの執着が断切れぬままに、モラエスは二人の愛を引裂いた掟、彼の手の中に残された銀色に光る十字架を憎んだ。ポルトガルの国教カトリックそのものを憎んだ。

マリーア以外の二人の女、アルシーはモザンビークに勤務の時、同棲していた土人の女であり、亜珍はマカオに勤務中、人売市場で買求め同棲した中国人とイギリス人の混血少女であった。

亜珍には、モラエスとの間にできた二人の男の子がいたが、ある日、二人の子供をつれ、家財道具の一切を持ってモラエスのところから失踪してしまい、二人の同棲生活は終りを告げた。アルシーとの別離はもっと簡単にモラエスの方から金をやり国元へ帰らせたのであった。三人の女について思いめぐらせた時、モラエスはすでに三人が三人とも遠い存在になってしまっていることに気づいた。

マリーアとの恋の記憶は、生涯いえることがない傷としてモラエスの心に残ってはいる。しかし、それもむしろマリーアその人への執着よりも、その恋のため、モラエスが二人を裂いたカトリックの信仰を憎みかつ捨てたという自責にさいなまれているための心のうずきといった方がよかった。

そして、心がうずけばうずくほどモラエスは、この神戸の街の片隅でヨネのおだやかで情緒豊かな暮らしに溺れていったのである。



よろず街 縫衣上處

神戸シャツ

大丸前 TEL ㊟ 2168



高級紳士服専門店

神戸テーラー

さんちかメンズタウン
生田区北長狭通 2 (阪急西口)

TEL ㊟ 0388

TEL ㊟ 2817・3173



紳士洋品の店

千利庵

元町 4 TEL ㊟ 6959



世界の品々は
サノへでお選
びください。



元町 2 丁目

㊟ 4707~8



新古美術

新 播

神戸元町3丁目・☎32516



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL ☎ 7290

高級紳士服

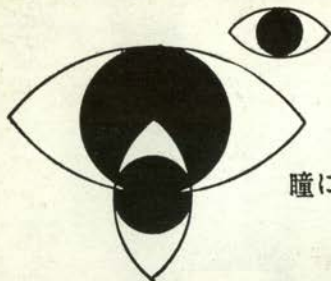
山名洋服店

神戸三宮生田筋 ☎ 5797



大上靴店・いなみ

元町通1丁目 TEL 33・3962
 さんちがメンズタウン TEL 39・4627

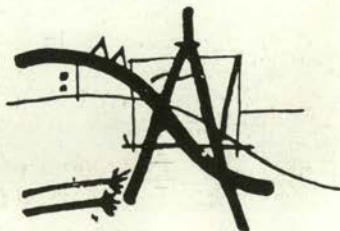


瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

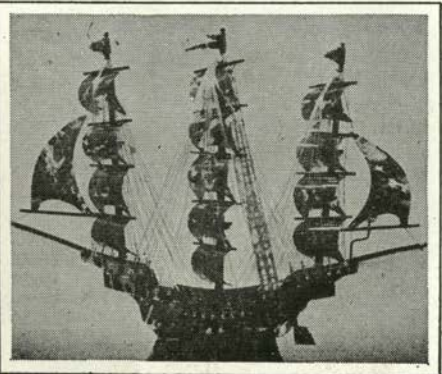
神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・8361

額縁絵画・洋画材料 室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
☎1309・6234



センスあふれる
べっ甲専門店

太田 鼈甲店

元町1丁目 TEL ☎6195

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

神戸 三宮センター街

TEL ☎0256

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神々名物

瓦せんべい

欧風煎餅

クリームハッピー
クレームパヒロン

創業明治6年

龜井堂總本店

本店 神戸元町通6丁目浜側 ③④ 0006 ③④ 0151
売店 神戸/三越、そごう百貨店 大阪/阪神甘
辛のれん街、近鉄百貨店、松坂屋百貨店 東京/
小田急百貨店、小田急のれん街、新宿ステーショ
ンビル有名物産内 九州/小倉東映、博多民衆駅



創作ハンドバッグ
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

高級きものとおび
しみぬぎ・活洗専門店



平野

つるや本店

兵庫区神田町125

(家庭裁判所前東1丁)

TEL ③④ 6932



一家団らのひなまつり

カメヤ

楽しいおもちゃの店

さんちかタウン
三宮センター街
元町通二丁目 ③④ 四〇四五
元町通三丁目 ③④ 四九六九
③④ 〇七六八
③④ 〇〇九〇



ご贈答に風味豊かなカステラ

長崎堂本店

本店=大橋町5大五ビル (61) 0553-4
 新開地店=松竹座前 (56) 2423
 元町店=元町 6 (34) 4130
 きんちかスイーツタウン (36) 3625

のれんが育てた
神戸の味

瓦せんべい
クリームパヒヨン

龜の井龜井堂本家

神戸三宮トーアロード
 本店 33-0001
 電話 南店 33-1616

おすし
てんぷら
榮 彌

営業時間
A. M. 11.30~P. M. 9

支店 さんちか味ののれん街
TEL 39 5 2 3 3

本店 三宮町二・朝日会館前
TEL 33 5 7 7 2

(毎週月曜日休み)

The
Casmopolitan
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン
チョコレート・キャンデー

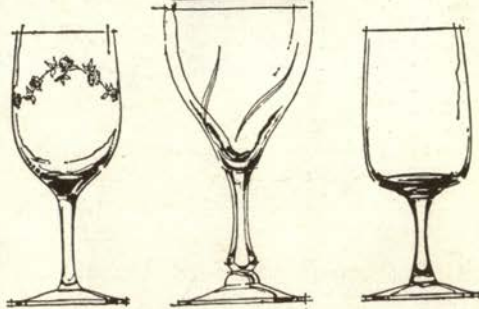
神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目170	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目	電話352-2436
東京有楽ビル店	東京都千代田区有楽町 有楽ビル	電話213-2821

SNACK BAR
マゼラン



生田区加納町4丁目 TEL 39-2366

CLUB
落



清水よし子

生田区下山手通2丁目TEL(39)1515



洋酒の店 キャンテイ

Chianti*

榊 晴夫 TEL(39)3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE



CLUB
Young Bell

松田 真理子

生田・中山手2丁目89・TEL 33-3052